

はじめに

この2学期は、文化祭、体育フェスティバル、合唱コンクールなどの学校全体の行事、そして学年で行われている命の授業やキャリア教育等の行事も数多くあり、子どもたちの熱意や努力、協力が実を結んだ充実感、達成感のある2学期になったように感じています。日頃からの保護者のみなさまのご支援に感謝いたしますとともに、来年も引き続き、みなさまと共により良い学校づくりを目指してまいりたいと思っております。新年も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

福祉体験授業(1年生) 11月19日

(文:1年学年主任 田中 宏樹)

1年生では、障がい者理解を通して互いの個性を尊重し合う心を育み、いのちの学習を通して他者への思いやりや自分を大切にすることを育むことを目標に取り組みを進めてきました。その一環として、奈良県と檀原市の福祉協議会から計16台の車いす、アイマスクや白杖をお借りし、11月19日(火)に福祉体験学習を行いました。

車いす体験では、スロープや段差などを含むルートを、車いすに乗る人と押す人に分かれて両方の体験をしました。車いすに乗っている人は「思ったよりも怖い」と感じる人も多かったようです。車いすを押す人は、「段差などは力がいって大変だった。操作が難しかった。バリアフリーがあれば良いと思った」という感想をもっており、乗っている人の気持ちになって押す人もコミュニケーションを取ることがとても大切だということが理解できました。



アイマスク体験では、アイマスクをつける人と介助する人の立場になって校舎内の階段などを使用して行いました。アイマスクを付けている人は、「通ったことのある道だけど、自分がどこにいるか分からなかった。怖かった。ここと言われてもどこか分からなかった」といった感想があり介助する人は、「伝え方が難しかった」との感想がありました。一人ずつ両方の体験を実施することで、お互いの立場の思いを肌で感じる事ができた体験授業になりました。



職業体験実演講話(2年生) 11月19日

(文:2年学年主任 小峠 大樹)

11月20日(水)、「ものづくりマイスター」による実演講話(出前授業)を実施しました。今回は、美容(ハンドエステ体験)、IT(プログラミング体験)、塗装(ウェルカムボード作製体験)の3つのグループに分かれ、専門科の方から職業に関する講義と体験実習をしていただきました。2年生は、1月末に職場体験学習を予定しており、その事前学習の一環として「職」について学ぶことができ、良い機会となりました。



プログラミング体験



ハンドエステ体験



ウェルカムボード作製体験

命の授業(2年生) 12月6日

(文:養護教員 上田 依子)

関西大学准教授 安藤 幸先生 ～ 多様性・ジェンダーについて考える ～

12月6日(金)に関西学院大学から安藤幸先生を招いて講演をしていただきました。「みんなが幸せに生きていくために大切なことは何か」を学びの柱に、前半は「身近な地域にはどんな多様性をもつ人がいるのか」、後半は「性の多様性について」を学習しました。ワークシートを使いながら、周りの友達とも意見交換をして参加型の授業で学びを深めていきました。また「LGBTQ」「包摂」「排除」「交差性」など新しい言葉や難しい専門用語も分かりやすく教えていただきました。「自分らしさを大切にしよう」「おたがいの“らしさ”を認め合おう」「アーライになろう」「違った意見とどう向き合うのか」という先生のメッセージが伝わったのではないのでしょうか。子ども達の感想文の一部をご紹介します。

「話を聞く前と後では考え方が変わったと思います。」

「多様性、ジェンダー、LGBTQ についてたくさんの方が理解している世の中になればいいと思いました。」

「周囲の人を配慮する必要性を再確認することができました。」

「違いを乗り越えて多様性が珍しいのではなくあたり前の世の中にしていきたいです。」

「学んだことをこれから生きていく上で活かしていきたいです。」

感想文を読んでいて、多様性やジェンダーについて、もっと知りたいというみなさんの姿勢がよく伝わりました。



身だしなみ教室(3年生) 11月25日

(文:3年学年主任 大隅 成悟)

今回は制服メーカーのスクールタイガー(瀧本)さんから講師を紹介していただき、制服を着る意味や理由、制服を正しく着るためのポイントなどを、時折クイズを交えながら、多岐にわたって楽しく学ばせていただきました。講師の方がおっしゃるには、「その人の第一印象は、出会ってから、たったの3秒で決まるそうです。」特に入試に面接がある人にとっては、短時間で決まる第一印象が良ければこれほど強い味方はありません。面接がない人でも、将来、新しいステージに進むとき、どこかで面接を受ける可能性は高いでしょう。進路決定を目前にしたこの時期に、教科の勉強の知識にも匹敵するような、大変為になるお話を伺うことができました。



花いっぱい運動 12月3日

本校では、毎週月曜日、7名の花のボランティアさんが花壇の手入れや草引きなどをしてきています。そのおかげで、白檀中学校は一年中、四季折々の花が絶え間なく咲いています。また、年に2回、生徒会を中心に有志のメンバーがボランティアさんと一緒に花いっぱい運動として、花苗の植付作業をしています。

1学期は7月1日、2学期は12月3日に行いました。桜草やビオラ、パンジーなどの花苗を植えました。約80名の生徒が参加してくれました。

色とりどりに咲き誇る花壇を見ていると、本当に心が豊かになります。参加してくれた生徒のみなさんの心の中にも、思いやりや優しさの花がきっと咲いていることと思います。

